

令和8年5月 まちなか整備・にぎわい創出特別委員会資料

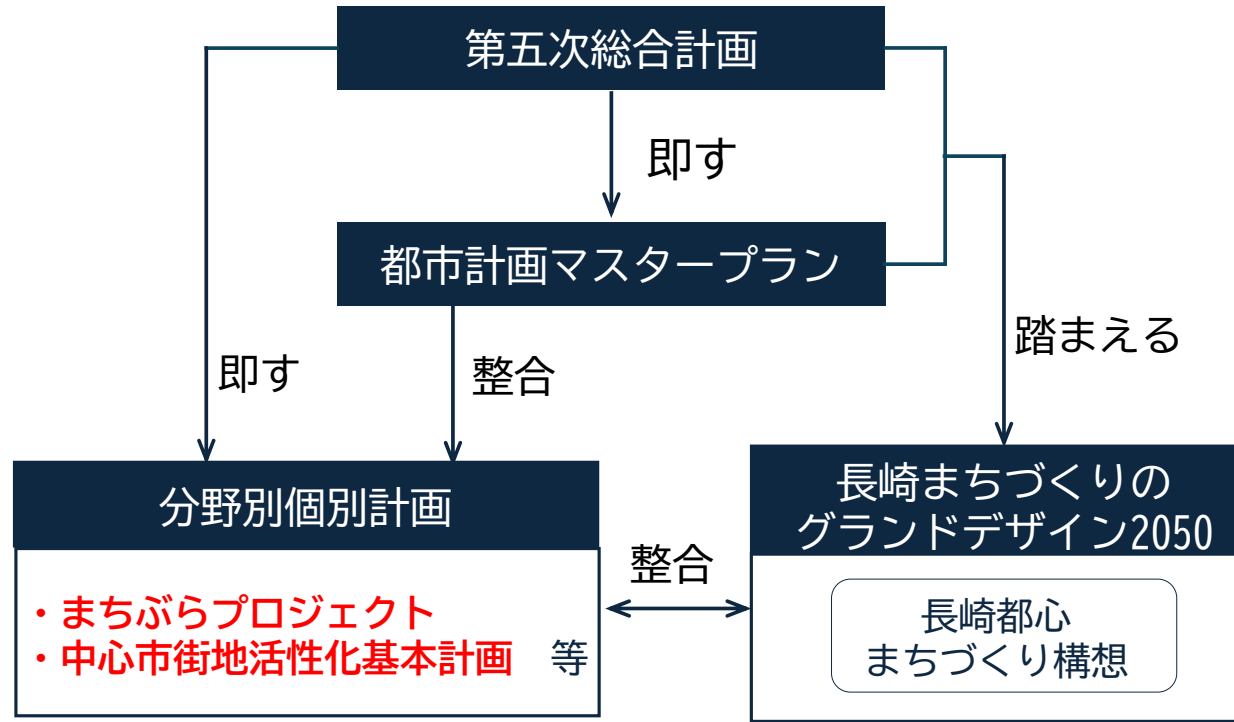
## 中心市街地活性化基本計画及びまちぶらプロジェクトの取組と成果について

| 目次                                   | ページ   |
|--------------------------------------|-------|
| 1 中心市街地活性化基本計画及びまちぶらプロジェクトの概要について …… | 2～3   |
| 2 まちぶらプロジェクトについて ……                  | 4～17  |
| 3 中心市街地活性化基本計画について ……                | 18～28 |
| 4 中心市街地の概況について ……                    | 29～35 |

令和8年5月  
まちづくり部・経済産業部

# 1 中心市街地活性化基本計画及びまちぶらプロジェクトの概要について

## (1) 位置付け



## (2) 計画期間

|              | H10～<br>(1998) | H15～<br>(2003) | H20～<br>(2008) | H25～<br>(2013) | H30～<br>(2018) | R5～<br>(2023) | R10～<br>(2028) |
|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|
| まちぶらプロジェクト   |                |                | ●              | ●              | ●              | ●             | ●              |
|              |                |                | 準備期間           |                | プロジェクト期間       |               |                |
| 中心市街地活性化基本計画 | ●              | ●              |                | ●              | ●              | ●             | ●              |
|              | 旧法による計画        |                |                | 第1期            | 第2期            | 第3期           |                |

# 1 中心市街地活性化基本計画及びまちぶらプロジェクトの概要について

## (3) 対象区域

### まちなか整備・にぎわい創出特別委員会におけるまちなかエリア

まちなか再生の行動に関する基本方針（H20.12策定）  
におけるまちなかエリア

歴史的な文化や伝統を色濃く残し、様々な都市機能が  
集積している古くからの市街地

### まちぶらプロジェクト区域

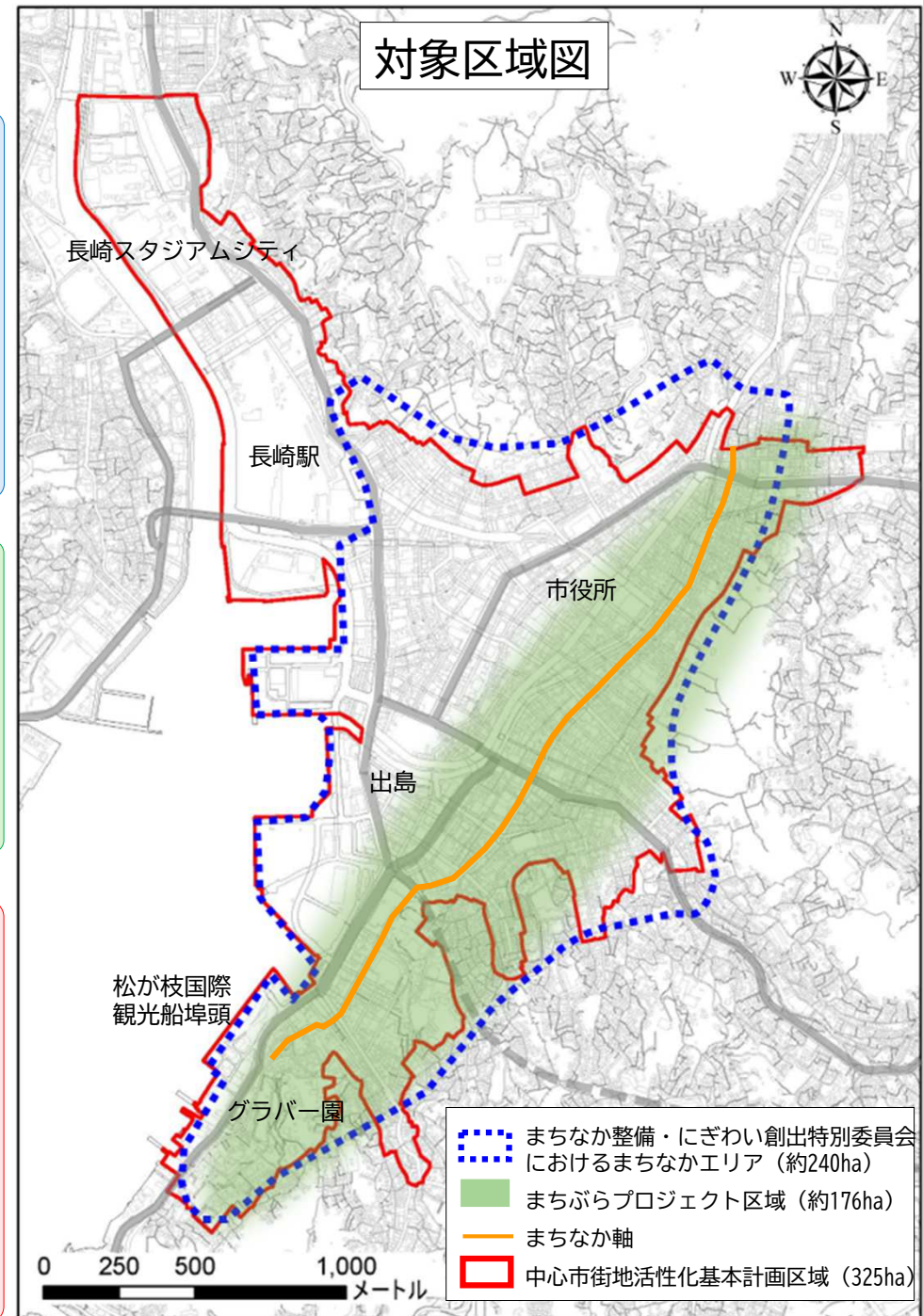
まちぶらプロジェクト（H25～）における区域

新大工から浜町を経て大浦に至るルートである「まちなか軸」  
を中心としたエリア

### 中心市街地活性化基本計画区域

第3期長崎市中心市街地活性化基本計画（R8.3認定）  
における計画区域

長崎駅、長崎スタジアムシティ、松が枝国際観光船埠頭、  
古くからの商業・業務の集積地及び歴史まちづくりを推進している区域



## 2 まちぶらプロジェクトについて

### (1) 沿革

平成18年度

#### まちなか再生計画策定検討委員会設置

- ・歴史的な文化・伝統を有するまちなかを長崎ならではの個性と魅力ある空間へと再生するための計画を検討・策定するために市が設置
- ・学識経験者、地域住民、商業関係者、行政機関等の委員で構成
- ・景観と地域文化を考える部会、道路と交通を考える部会、まちなか居住と賑わいを考える部会を設置
- ・委員会と地域住民とが意見交換を行うまちなかミーティングも実施
- ・委員会、部会、まちなかミーティングなど延べ44回・706人が参加



平成19年度

#### まちなか再生計画策定検討委員会報告書提出

- ・市民が誇りに思えるまちなかを目指して、「地域力でのまちなか再生」を主眼にまちなかの将来像、まちなか再生のための進め方及び事業を提案

# 2 まちぶらプロジェクトについて

## (1) 沿革

平成20年度

### まちなか再生推進本部設置

- ・まちなかの将来像や目標の実現に向け効率的かつ総合的な推進を図るために市が設置

### まちなか再生の行動に関する基本方針策定

- ・「地域力でのまちなか再生」を目指すための基本的な考え方や行動方針を市が策定

平成21年度

### まちなか再生ガイドライン作成

- ・まちなかの将来像を共有し、将来像を実現することを目指し、地域力でまちなかを再生する手引書として市が作成

**まちの将来像**  
「長崎文化を体感し、発信する賑わいのまち」

**まちづくりの方針**  
I 商業、飲食や娯楽の魅力を高め、広域からの集客を図る。  
II 若者が集まり新しい商品や文化を生み出すまちをつくる。  
III 交通の利便性を高める。  
IV パブリックスペースを確保する。

**まちづくりのイメージ**

- 歩いて美しい賑い空間をつくる
  - ・通りの賑わいを連続させるため、建物と建物の距離を、オープンカフェ化を進める。
  - ・路上（フォーマー）のイメージ
  - ・ストリートパフォーマンス、路上ライブなど、まちの賑わいをつくる新しい手を育てる。
- 安心してまち歩きができる環境をつくる
  - ・子供・高齢者・障がい者の設置、休憩所の設置など、みんなが安心して歩ける環境を整える。
  - ・歩行環境と案内サービスを充実させる。
- 将来のまちを担う若手を育て伸ばす
  - ・新しい試みに挑戦する若者を、発掘し交流する仕組みを考える。
  - ・ハブエリアなど新しい長崎文化を発信する活動を誘発し、伸ばす機会をつくる。
- 文化と賑わいを運営するしくみをつくる
  - ・まちづくり計画をつくり実施する組織をつくる。
  - ・空き店舗や空き地など、まち全体で不動産を運用し、まち全体の価値を高めるしくみをつくる。
  - ・ポイントサービスなど、公共交通の利便性を図る。
- まちなかに人を呼び込む
  - ・春川通りの水筒橋、タカシロールの設置などを検討する。
  - ・駐車場の運用を地区全体の取り組みとすることを検討する。

**まちづくりのイメージ**

**凡例**

- エリア区分
- 公園
- 商業（店、市場）
- まちの賑わい
- 歩行者ネットワーク
- 中心部を核として賑わい向上
- 歩行者ネットワーク
- 中心部を核として賑わい向上
- 交通の利便性を高める
- 交通の利便性を高める

**まちの将来像**

- 特徴ある商店街が連携しまちの魅力高める
  - ・大きな3つのエリア（浜んまち、商店、駅前）、6号道路、通り（リカちゃん通り、長崎の道地など）の特徴を活かし、賑わいのつながりを高める。
- 商業、長崎らしい食文化や食材を提供するお店、文化教室などを増やし、多様なニーズに応えられるようにすることで、子供からお年寄りまで、一日中楽しめるまちにする。
- アーランドをまちなかの広場とし、訪れた人が、楽しめる仕掛けをつくる

将来像をかたちにすると、みなさんの思いを目にみえるかたちにすることで

歴史あるまちの雰囲気を守りたい！

お花や緑が身近に感じられるまちにしたい！

まちを元気にするイベントをしたい！

どうすれば目にみえるかたちにできるのでしょうか

**これまでのまちづくり**  
これまでのまちづくりは、道路をつくる、大きな施設をつくるなど、行政が先頭を立て進めてきました。市民の皆さんも、自分達の思いや声を、誰にどのように伝えて良いか、わからなかったと思います。

**これまでのまちづくり**  
市民の皆さんのアイデアを、①受け止める、②ふくらます、③かたちにする機会をたくさんつけていきます。ただ、市民の皆さんだけでまちなか再生に取り組むことは大変です。アイデアの内容に即して、行政は皆さんのお手伝いをいたします。

またまちが変わっていったね

まちかどで花を育てはじめたんだ

花の苗は市からもらったんだ

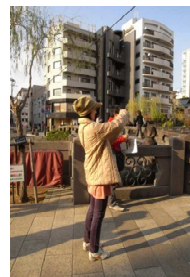
## 2 まちぶらプロジェクトについて

### (1) 沿革

平成22年度

#### 歩いて楽しいまちづくり構想作成

- ・歩いて楽しいまちのめざす姿や実現するための道筋をとりまとめ
- ・多くの市民の声を聞くため、座談会として開催し、全5回、延べ1000人超が参加



平成23年度

#### 長崎まちなかデザイン戦略作成

- ・まちなかの空間整備におけるデザインの基本的な指針として、公共空間デザインの理想像や実現に向けた仕組みを示したもの
- ・歩いて楽しいまちづくり座談会での意見等を踏まえ、専門家が検討し作成



和のたたずまいを感じるデザインとする

町家、商家、料亭、寺院群など長崎の和風文化を色濃く残すエリアであることから、歴史的資源と調和の取れた色彩や材質などを用いたデザインする。



石橋群や川面をひきたたせる  
圧迫感のないデザインとする

中島川の周辺は、石橋群や川面をひきたたせる圧迫感のない高さや色彩を用いるとともに、橋上や河畔の通りからの景観に配慮したデザインとする。また、水辺空間としての一体感を創出する連続性のあるデザインとする。



平成25年度

#### まちぶらプロジェクト始動

## 2 まちぶらプロジェクトについて

### (2) 目的

歴史的な文化や伝統に培われた対象区域の賑わいの再生を図るため、5つのエリアの個性や魅力の顕在化などを進めるための整備やソフト事業を市民などと連携しながら進めるもの

### (3) 対象区域

新大工から浜町を経て、大浦に至るルートを「まちなか軸」と設定し、軸を中心とした5つのエリアを対象としている



## 2 まちぶらプロジェクトについて

### (4) プロジェクト期間

平成25年度～令和9年度

### (5) プロジェクトの構成

#### エリアの魅力づくり

各エリアが持つ特色を活かしながら、魅力の向上に結び付くような取組みを進める。



#### 軸づくり

各エリア間の回遊性を高める環境の整備を行うとともに、長崎駅周辺等の玄関口から対象区域への誘導を図る。



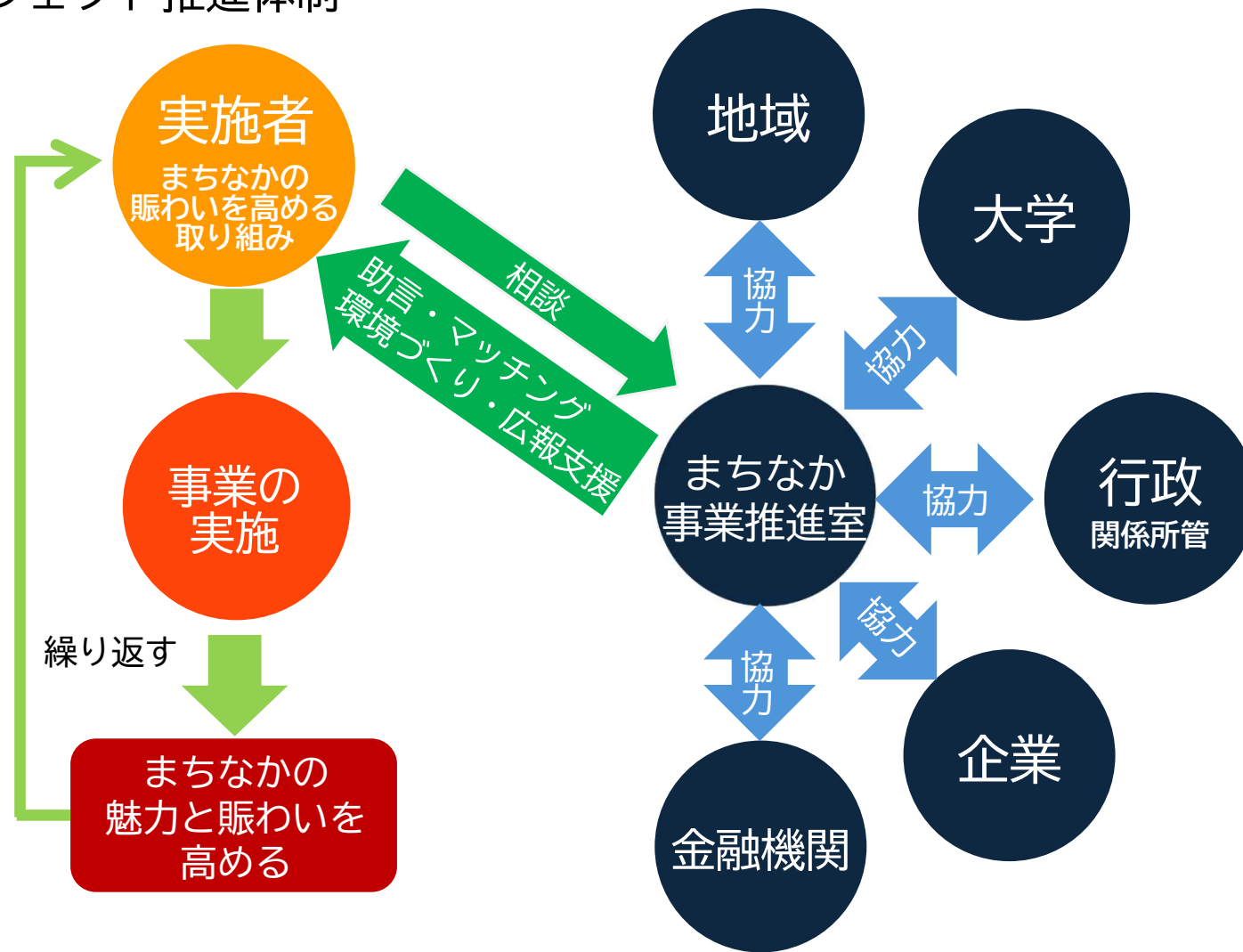
#### 地域力によるまちづくり

地域や市民自らが多様な組織と連携を図りながら主体となって行動し、地域を支えるような地域力や市民力を結集する取組みを進める。



## 2 まちぶらプロジェクトについて

### (6) プロジェクト推進体制



#### まちぶらプロジェクトにおけるまちなか事業推進室の役割

- ・ 行政や民間による事業の見える化
- ・ 市内の関係部局調整（横断連携）
- ・ まちぶらプロジェクト認定事業
- ・ 事業の進捗確認
- ・ 官民連携による事業等の推進
- ・ 認定事業の広報支援 など



## 2 まちぶらプロジェクトについて

### (7) 取組み及び成果

#### ア エリアの魅力づくり

##### 新大工エリア

商店街・市場を中心とした  
ふだん着のまち

- ・新大工町地区市街地再開発事業



- ・新大工まちゼミナール



など21事業

##### 中島川・寺町・丸山エリア

和のたたずまいと  
賑わいの粋なまち

- ・町家・まちなみの整備・保存



- ・歳時の顕在化（まちあかり）



など44事業

##### 浜町・銅座エリア

長崎文化を体感し、  
発信する賑わいのまち

- ・銅座界わい路地魅力向上



- ・つきまち長崎横丁



など28事業

## 2 まちぶらプロジェクトについて

### (7) 取組み及び成果

#### ア エリアの魅力づくり

##### 館内・新地エリア

中国文化に触れ、  
食を楽しむまち

- ・長崎ランタンフェスティバル



- ・唐人屋敷顕在化事業



など25事業

##### 東山手・南山手エリア

異国情緒あふれる  
国際交流のまち

- ・洋館の保存・活用



- ・長崎居留地まつり



など42事業

全160事業  
(民間事業を含む)

## 2 まちぶらプロジェクトについて

### (7) 取組み及び成果

#### イ 軸づくり

##### 回遊路整備

- ・ 岩原川周辺環境整備事業



- ・ ししとき川沿い修景



- ・ 都市計画道路大黒町恵美須町線
- ・ 市庁舎周辺道路
- ・ 案内板・誘導サイン整備 など

##### トイレや休憩所の充実

- ・ 公共トイレ改修



- ・ 民間休憩所の解放



- ・ 長崎おもてなしトイレ
- ・ 休憩施設整備 など

##### 情報発信

- ・ 回遊マップ発行・配布



- ・ まちなかイベント情報発信



- ・ 市役所19階展望スペース情報発信
- ・ 協力民間事業者による情報発信
- ・ 掲示板整備 など

## 2 まちぶらプロジェクトについて

### (7) 取組み及び成果

#### ウ 地域力によるまちづくり

##### (ア) まちなか賑わいづくり活動支援事業

全56件 (R8.3末時点)

目的：まちなかのにぎわいを創出する提案事業を募集し、その活動の初動時期を支援することで、主体的・継続的な取組みにつなげること

対象事業：地域の魅力を発信する事業、地域の資源を活かした商品の開発に係る活動、歴史的建造物等を活用する活動、賑わいの創出に効果がある事業 など

#### 採択事業例



中島川賑わいビッグSUPツアー冬の陣



CHALLENGE THE NAGASAKI  
～皆のチャレンジの一步を～



長崎居留地インバウンド対応  
エリアマップ作成



まちなか公園マルシェ



長崎デジタル花火大会



ながさき絵本の旅プロジェクト  
-14-



「路地文化に灯りを」  
プロジェクト



まちなか推し巡りカードラリー

## 2 まちぶらプロジェクトについて

### (イ) まちぶらプロジェクト認定事業

全111件 (R8.5.15時点)

目的：まちぶらプロジェクトの当事者としての意識を醸成するとともに、地域貢献の社会的な評価を付すことにより、地域力によるまちなかの賑わい再生に寄与すること

対象事業：エリアの魅力を高める事業、まちなかに人が集いまちなかを楽しむ事業 など

### 認定事業例



CHAMP!!チャレンジ



長崎夜市～中島川夏風情



ぶんちゃんランド



長崎キッズ  
ハロウィンパーティー



『音楽で唐人屋敷の魅力を』



Art Park構想 (公園でお絵描き)



長崎を着物の町へ  
長崎きものプロジェクト

## 2 まちぶらプロジェクトについて

### (ウ) まちぶらNEXT交流会

目的：地域関係者、事業者、市民活動団体、行政等のまちづくり関係者の交流の場を設けることで、関係者の連携強化や新たな取組みの創出を図ること

#### 令和5年度

参加人数：47名

##### 内容

- ・エリア全体で開催
- ・各団体の活動内容の展示
- ・活動に関する相談会
- ・ゲスト講師による講座
- ・まちなかの賑わいづくりに関するワークショップ



#### 令和6年度

参加人数：延べ132名

##### 内容

- ・エリアごとに開催（4エリア）
- ・各団体の活動内容発表
- ・エリア内の今後の活動に向けたワークショップ
- ・テーマごとの交流 など



#### 令和7年度

参加人数：70名

##### 内容

- ・エリア全体で開催
- ・エリアマネジメントに関する基調講演
- ・若手活動者による対談
- ・参加者で自由に交流 など



交流会の満足度：87%が満足・やや満足（3カ年平均）

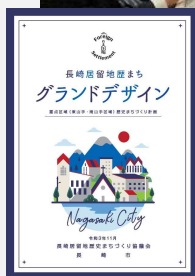
##### 交流会での意見：

色々な人たちとの交流が生まれて良かった、色々な視点からの意見をもらえて参考になった  
実際に活動している方々との交流は非常に面白い、もっと回数を重ねてメンバーを増やしていきたい

## 2 まちぶらプロジェクトについて

### (エ) その他の取組み

#### 官民連携によるまちづくり活動

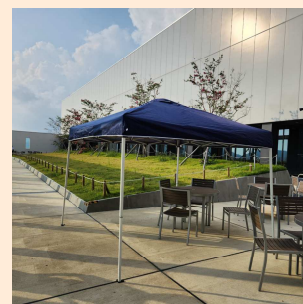


長崎居留地歴史まちづくり協議会 など

#### イベント支援



イベント・プレイヤー育成支援講座



イベント物品貸出、イベント情報発信  
など

### 3 中心市街地活性化基本計画について

#### (1) 目的

- ・急速な少子高齢化の進展、社会経済情勢の変化に対応して、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進すること
- ・計画が国から認定されることにより、国からの支援を受けることが可能

国からの主な支援例

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 財政的支援 | 暮らし・にぎわい再生事業（公共公益施設の整備に係る補助）          |
|       | 中心市街地再活性化特別対策事業（施設整備に係る起債及び交付税措置）     |
|       | 中心市街地活性化ソフト事業（ソフト事業に係る交付税措置）          |
| 金融支援  | 企業活力強化貸付（民間事業者の事業へ(株)日本政策金融公庫による低利融資） |
| 法的支援  | 大規模小売店舗立地法の特例（大規模小売店舗新設・変更の届出緩和）      |

#### (2) 沿革

|         |                          |
|---------|--------------------------|
| 平成11年度～ | 中心市街地活性化基本計画             |
| 平成12年度  | 中小小売商業高度化事業構想（TMO構想※1）認定 |
| 平成18年度  | 中心市街地活性化に係る法改正※2         |
| 平成27年度～ | 中心市街地活性化基本計画（第1期）        |
| 令和2年度～  | 中心市街地活性化基本計画（第2期）        |
| 令和8年度～  | 中心市街地活性化基本計画（第3期）        |

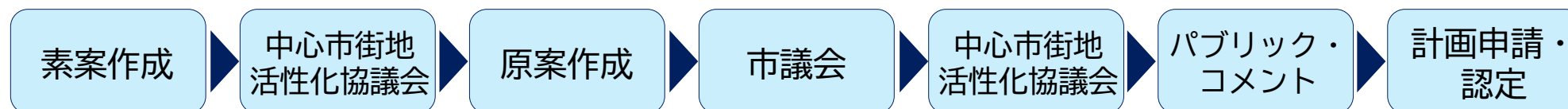
※1 TMO構想

中心市街地における商業活性化事業の全体計画。  
中心市街地活性化基本計画を踏まえ、長崎市TMO  
構想策定協議会が作成し、市が認定

※2 中心市街地活性化に係る法改正

- ・中心市街地活性化本部設置等の国の推進体制強化
- ・多様な民間主体が参画する中心市街地活性化協議会を法的に位置付け など

#### (3) 計画認定までの流れ



### 3 中心市街地活性化基本計画について

【参考】長崎市中心市街地活性化協議会構成員

会長：長崎商工会議所会頭

事務局：長崎商工会議所

| 委員区分      | 委員所属   |
|-----------|--|
| 商工会議所     | 長崎商工会議所  |
| まちづくり会社   | 長崎つきまち(株)、まちづくり新大工町(株)   |
| 商店街団体     | 浜んまち6商会、長崎市中通り商店街振興組合、長崎市築町商店会、長崎駅前商店街組合、長崎市新大工町商店街振興組合、長崎新地中華街商店街振興組合 |
| 交通事業者     | 長崎自動車(株)、長崎県交通局、長崎電気軌道(株)、九州旅客鉄道(株)、(一社)長崎市タクシー協会                      |
| 地権者       | 浜町6東・8東・9番街区市街地再開発準備組合、(株)リージョナルクリエーション長崎                              |
| 金融機関      | (株)十八親和銀行  |
| 学識経験者     | (公財)ながさき地域政策研究所、長崎大学経済学部   |
| 環境・コミュニティ | NPO法人長崎コンプラドール   |
| 地域経済      | (一社)長崎青年会議所  |
| 観光        | (一社)長崎国際観光コンベンション協会  |
| 市町村       | 長崎市まちづくり部、長崎市経済産業部   |
| オブザーバー    | 経済産業省九州経済産業局産業部、国土交通省九州地方整備局建政部、長崎県産業労働部、(独)中小企業基盤整備機構高度化事業部           |

### 3 中心市街地活性化基本計画について

#### (4) 第1期計画

##### ア 概要

○計画期間：平成27年度～令和元年度

○計画区域：約262ha（右図赤枠）

○基本方針等

問題

- ・多様な地区の特色を持つ長崎の魅力の表出不足
- ・民間事業者や地元住民等地域との連携不足
- ・人がまちに来てとどまる仕組みと拠点間の回遊性の不足
- ・面としての一体的・総合的な事業推進の不足

活性化の  
テーマ

長崎特有の歴史と文化を活かした、  
魅力と活力のあるまちづくり

基本  
方針

集客拠点間の  
回遊による  
賑わいの創出

歴史と文化による  
個性ある  
まちづくりの推進

魅力と活力のある  
商業環境の形成

目標

まちなかの  
にぎわいの創出

交流人口の拡大

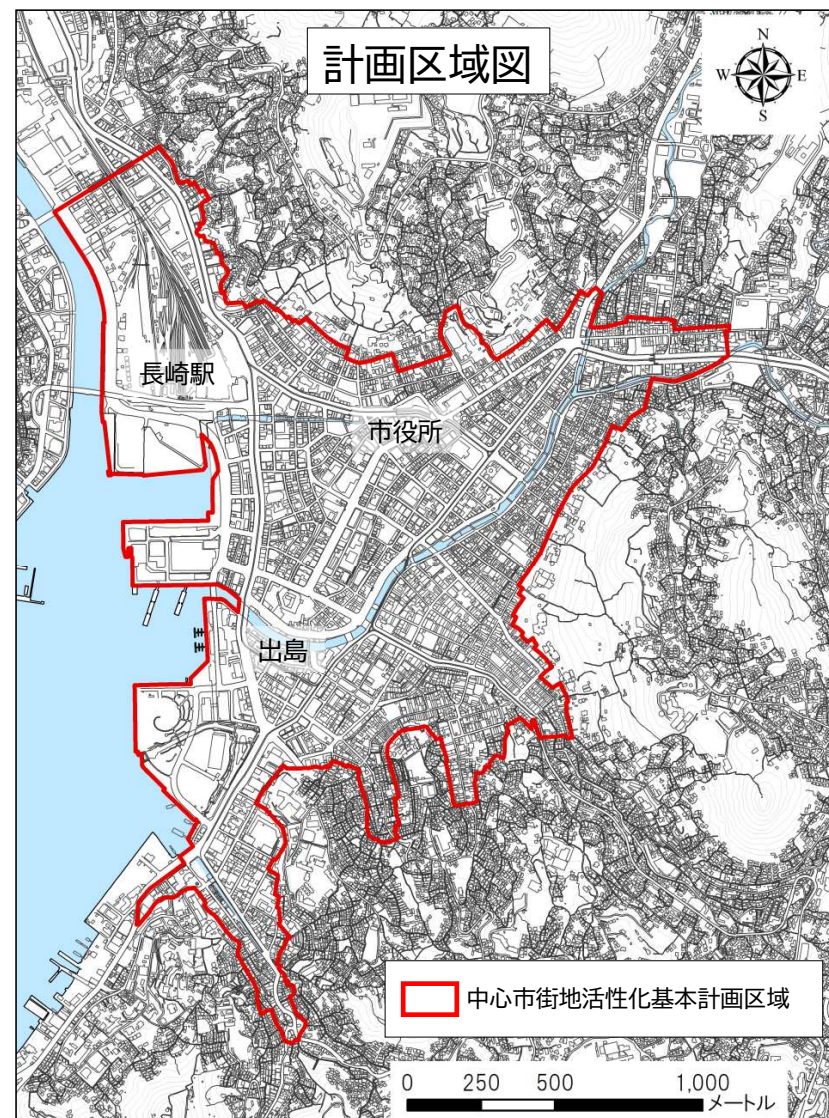
商業の活性化

目標  
指標

歩行者通行量

主要観光施設の  
年間入場者数

小売業年間  
商品販売額



### 3 中心市街地活性化基本計画について

#### イ 取組及び成果

##### (ア) 目標に関する主な事業

全70事業（うち完了11事業、未着手3事業、実施中56事業）

##### まちなかの賑わい創出

- ・新市立病院建設事業



- ・新大工町地区市街地再開発事業
- ・浜町地区市街地再開発事業

##### 交流人口の拡大

- ・出島表門橋架橋整備事業



- ・出島和蘭商館跡復元事業
- ・まちなか回遊路整備事業
- ・誘導サイン整備事業

##### 商業の活性化

- ・まちなか商店街誘客事業



- ・交流拠点施設整備事業
- ・新大工町地区市街地再開発事業
- ・浜町地区市街地再開発事業

##### (イ) 中心市街地活性化ソフト事業※

- ・長崎ランタンフェスティバル
- ・長崎帆船まつり
- ・長崎くんち
- ・長崎さるく
- ・中島川周辺活性化事業
- ・長崎パーロン選手権大会
- ・長崎バイサイドマラソン&ウォーク
- ・観光イルミネーション事業
- ・東山手・南山手地区魅力向上事業
- ・Nagasaki まちなか文化祭
- ・長崎市まちなか賑わいづくり活動支援事業
- ・まちなか再生推進事業
- ・中心市街地頑張る商店街ステップアップ事業
- ・まちなか商業人材サポート事業

※中心市街地活性化ソフト事業…中心市街地活性化基本計画に位置付けられたソフト事業に係る特別交付税措置

### 3 中心市街地活性化基本計画について

#### (ウ) 目標指標の達成状況

| 目標              | 目標指標             | 基準値                                       | 目標値                                      | 最終値                                      | 達成状況 |
|-----------------|------------------|---|--|--|------|
| まちなかの<br>にぎわい創出 | 歩行者通行量<br>(16地点) | 平日 133,211人/日<br>休日 125,438人/日<br>(H26年度) | 平日 140,100人/日<br>休日 131,700人/日<br>(R元年度) | 平日 138,681人/日<br>休日 134,373人/日<br>(R元年度) | 概ね達成 |
| 交流人口の<br>拡大     | 主要観光施設<br>年間入場者数 | 857,898人/年<br>(H25年度)                     | 931,400人/年<br>(R元年度)                     | 826,987人/年<br>(R元年度)                     | 未達成  |
| 商業の活性化          | 小売業年間<br>商品販売額   | 1,537億円/年<br>(H26年推計値)                    | 1,570億円/年<br>(R元年)                       | 1,399億円/年<br>(R元年)                       | 未達成  |

#### ウ 課題

- ・ 観光客数は増加したものの、宿泊客数や小売業年間商品販売額が伸び悩んでおり、消費へ十分に繋がっておらず、消費拡大を図る必要がある
- ・ 転出超過数が2年連続ワースト1位であり、特に若い世代の転出が多く、転出超過への対策が必要である

### 3 中心市街地活性化基本計画について

#### (5) 第2期計画

##### ア 概要

○計画期間：令和2年度～令和7年度

○計画区域：約325ha（右図赤枠）

○基本方針等

人口の社会減が深刻化

問題

暮らしやすさが  
不十分

経済活動が  
拡大していない

働きたいと思う  
仕事がない

活性化の  
テーマ

長崎のエンジンである中心市街地を起点とした、  
人に選ばれるまちづくり

基本  
方針

暮らしやすさを  
実感できる  
まちづくりの推進

交流の産業化の  
推進による  
消費の拡大

雇用環境の充実

目標

市民生活の  
利便性向上

交流の産業化による  
消費の拡大

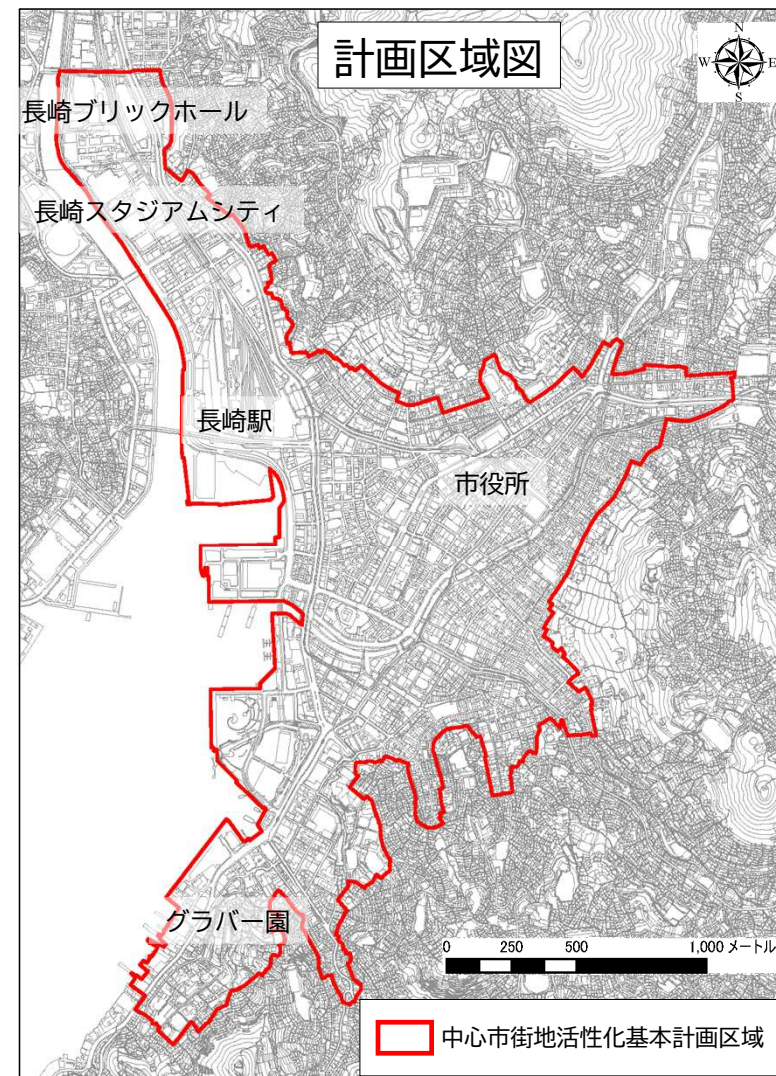
雇用の場の創出

目標  
指標

歩行者通行量

年間延べ宿泊客数

新規雇用者数



### 3 中心市街地活性化基本計画について

#### イ 取組及び成果

##### (ア) 目標に関する主な事業

全86事業（うち完了28事業、未着手0事業、実施中58事業）

##### 市民生活の利便性向上

- ・新市庁舎建設事業



- ・新大工町地区市街地再開発事業
- ・長崎駅周辺土地区画整理事業
- ・交流拠点施設整備事業

##### 交流の産業化による消費の拡大

- ・交流拠点施設整備事業



- ・文化財保存整備事業

##### 雇用の場の創出

- ・企業立地推進事業



- ・交流拠点施設整備事業
- ・新大工町地区市街地再開発事業

##### (イ) 中心市街地活性化ソフト事業※

- ・長崎ランタンフェスティバル
- ・長崎パーロン選手権大会
- ・長崎くんち
- ・長崎バイサイドマラソン
- ・長崎さるく
- ・Nagasaki まちなか文化祭
- ・中島川周辺活性化事業
- ・長崎開港450周年記念事業
- ・長崎郷土芸能大会
- ・ながさき実り・恵みの感謝祭
- ・長崎市まちなか賑わいづくり活動支援事業
- ・まちなか再生推進事業
- ・まちなか商店街誘客事業
- ・空き店舗活用にぎわい創出事業
- ・新たなにぎわい創出事業

※中心市街地活性化ソフト事業…中心市街地活性化基本計画に位置付けられたソフト事業に係る特別交付税措置

### 3 中心市街地活性化基本計画について

#### (ウ) 目標指標の達成状況

| 目標                     | 目標指標            | 基準値                                    | 目標値                                    | 最終値                                    | 達成状況 |
|------------------------|-----------------|--|--|--|------|
| 市民生活の<br>利便性向上         | 歩行者通行量<br>(9地点) | 平日 61,997人/日<br>休日 60,896人/日<br>(R元年度) | 平日 65,300人/日<br>休日 64,000人/日<br>(R7年度) | 平日 41,966人/日<br>休日 44,132人/日<br>(R7年度) | 未達成  |
| 交流の産業化<br>による<br>消費の拡大 | 年間延べ<br>宿泊客数    | 1,699,434人/年<br>(H30年)                 | 1,997,000人/年<br>(R7年)                  | 2,131,013人/年<br>(R7年)                  | 達成   |
| 雇用の場の<br>創出            | 新規雇用者数          | 893人<br>(H26～30年度)                     | 1,500人<br>(R2～7年度)                     | 1,476<br>(R2～7年度)                      | 概ね達成 |

#### ウ 課題

- ・ 集客拠点整備による交流人口の拡大が中心市街地全体の回遊性向上に結び付いておらず、交流人口拡大による効果を中心市街地全体へ波及させる必要がある
- ・ 雇用の場の創出は進んでいるものの、地域経済の縮小や各種産業の担い手不足の問題が顕在化しており、交流人口拡大の好機を活かし、持続可能で力強い経済の成長につなげる必要がある

### 3 中心市街地活性化基本計画について

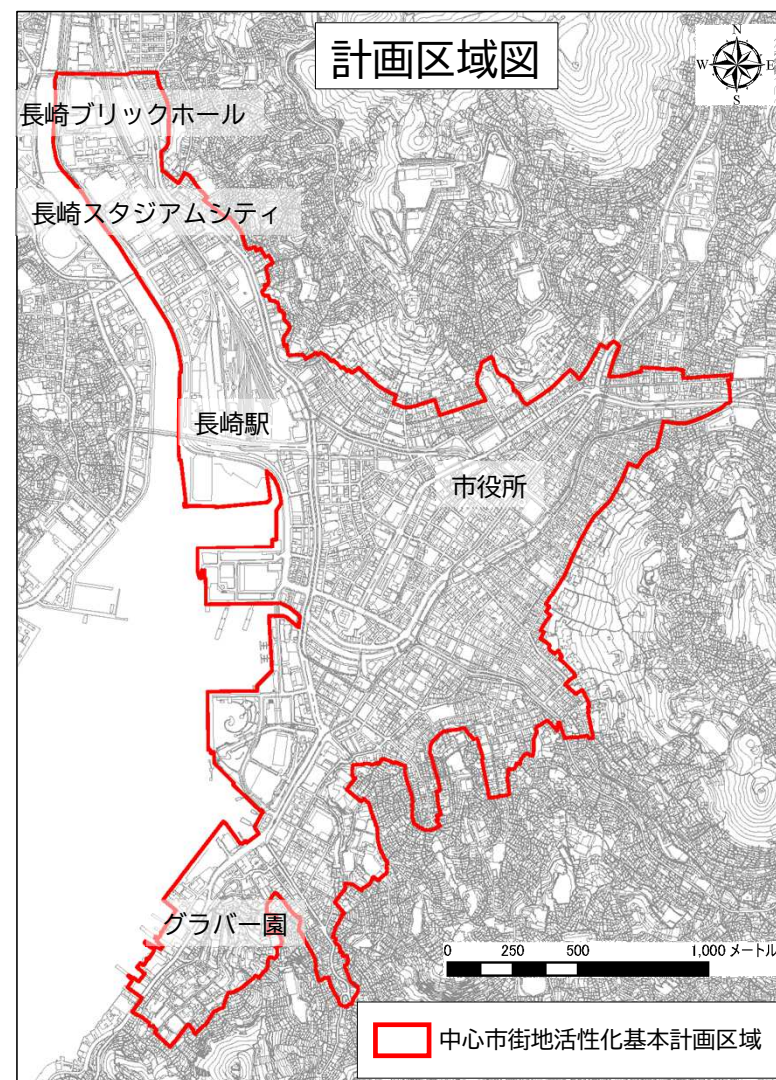
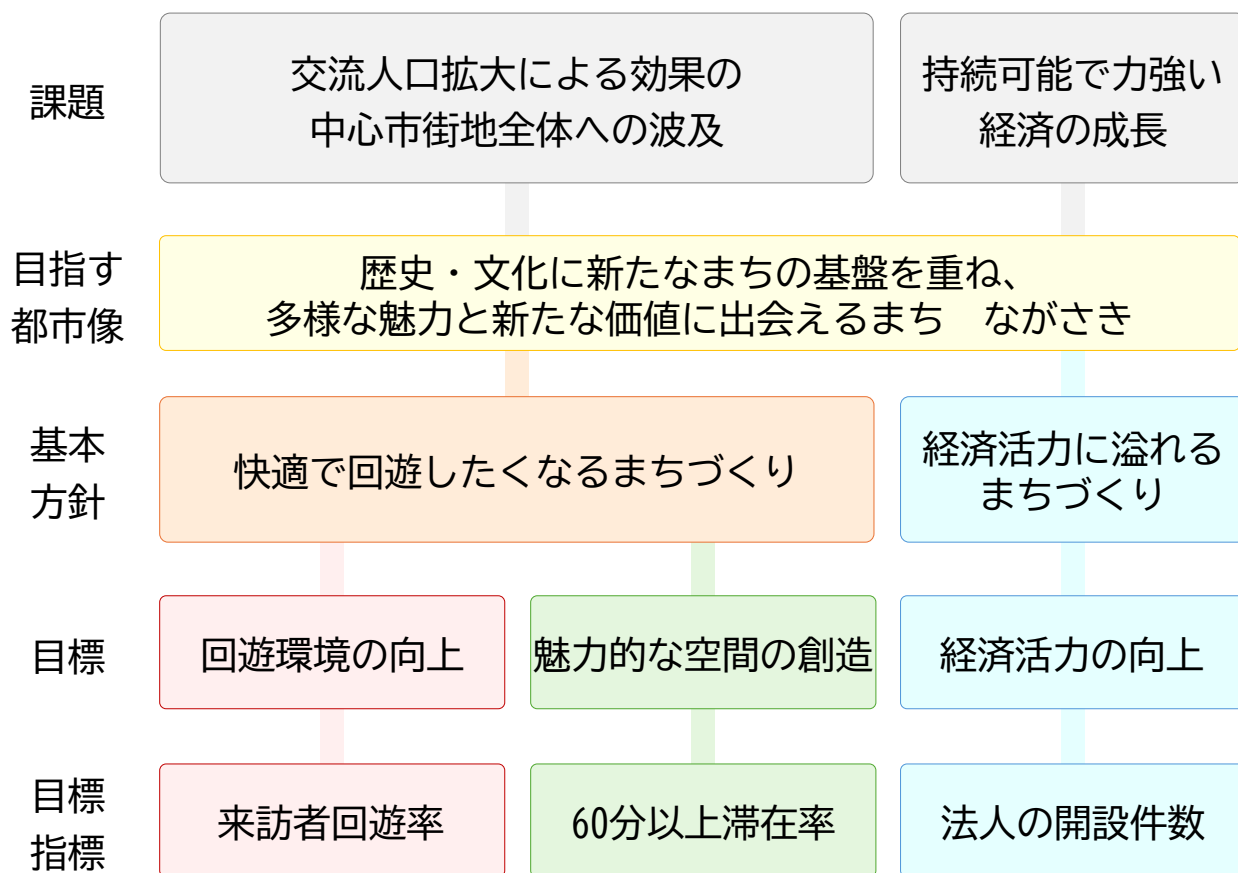
#### (6) 第3期計画

##### ア 概要

○計画期間：令和8年度～令和12年度

○計画区域：約325ha（右図赤枠）

○基本方針等





### 3 中心市街地活性化基本計画について

#### ウ 取組

##### (ア) 目標に関する主な事業

全56事業（うち2期からの継続事業49事業、新規事業7事業）

#### 回遊環境の向上

- ・市庁舎本館跡地等の活用



- ・長崎駅周辺土地区画整理事業



- ・(都)大黒町恵美須町線街路整備事業
- ・岩原川周辺環境整備事業
- ・市庁舎周辺道路整備事業
- ・まちなか賑わい創出事業
- ・まちなか再生推進事業
- ・長崎さるく

#### 魅力的な空間の創造

- ・東山手・南山手地区洋館等活用事業



- ・長崎ランタンフェスティバル



- ・長崎歴史・文化推進事業  
Nagasaki まちなか文化祭、長崎くんち  
中島川周辺活性化事業、長崎居留地まつり  
長崎郷土芸能大会
- ・商店街再生プロジェクト支援事業
- ・まちなか賑わい創出事業
- ・まちなか再生推進事業
- ・長崎さるく

#### 経済活力の向上

- ・観光地域づくり推進事業（MICE関連）



- ・観光地域づくり推進事業  
(地域マネジメント関連)

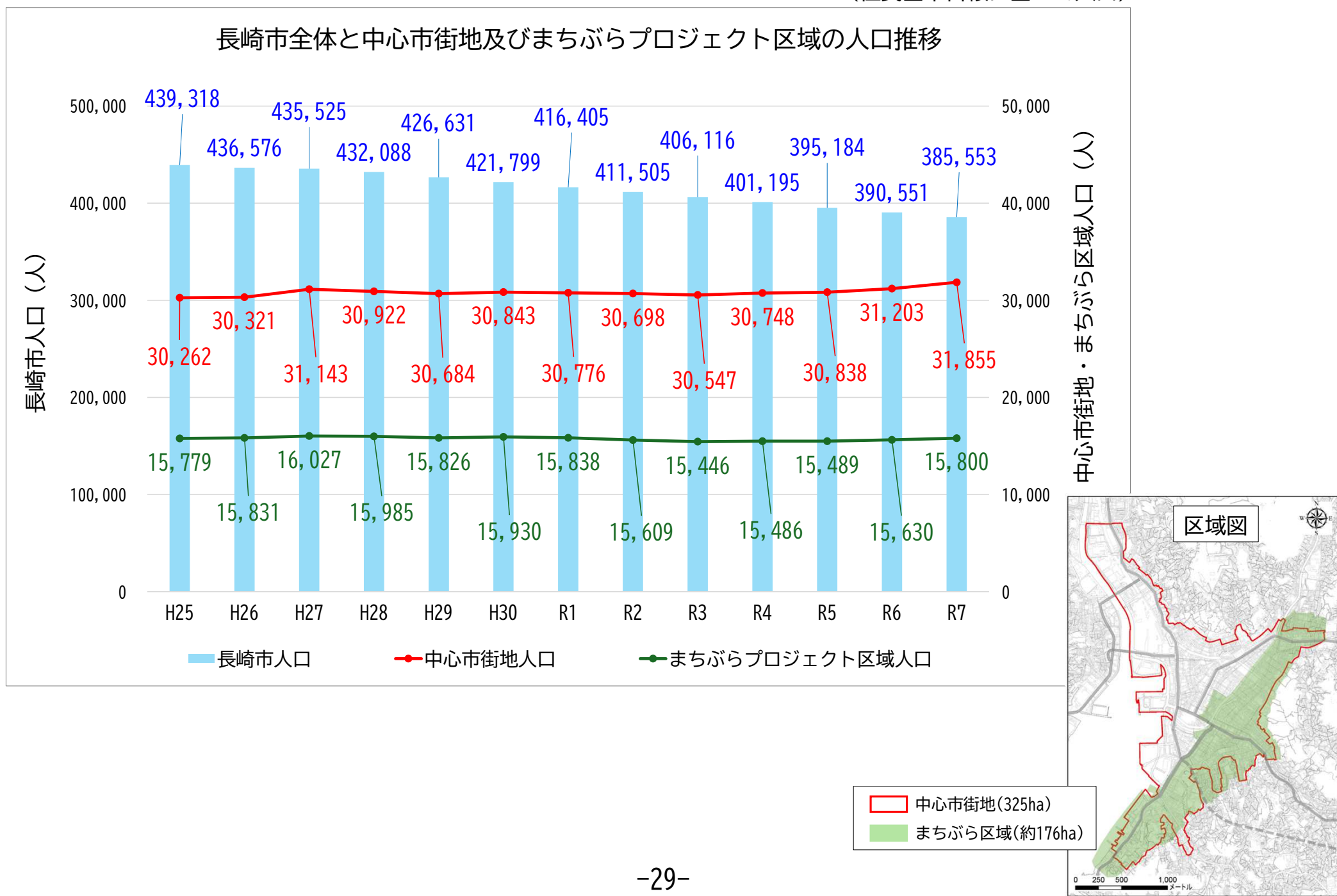


- ・産学連携・創業支援事業

# 4 中心市街地の概況について

## (1) 人口

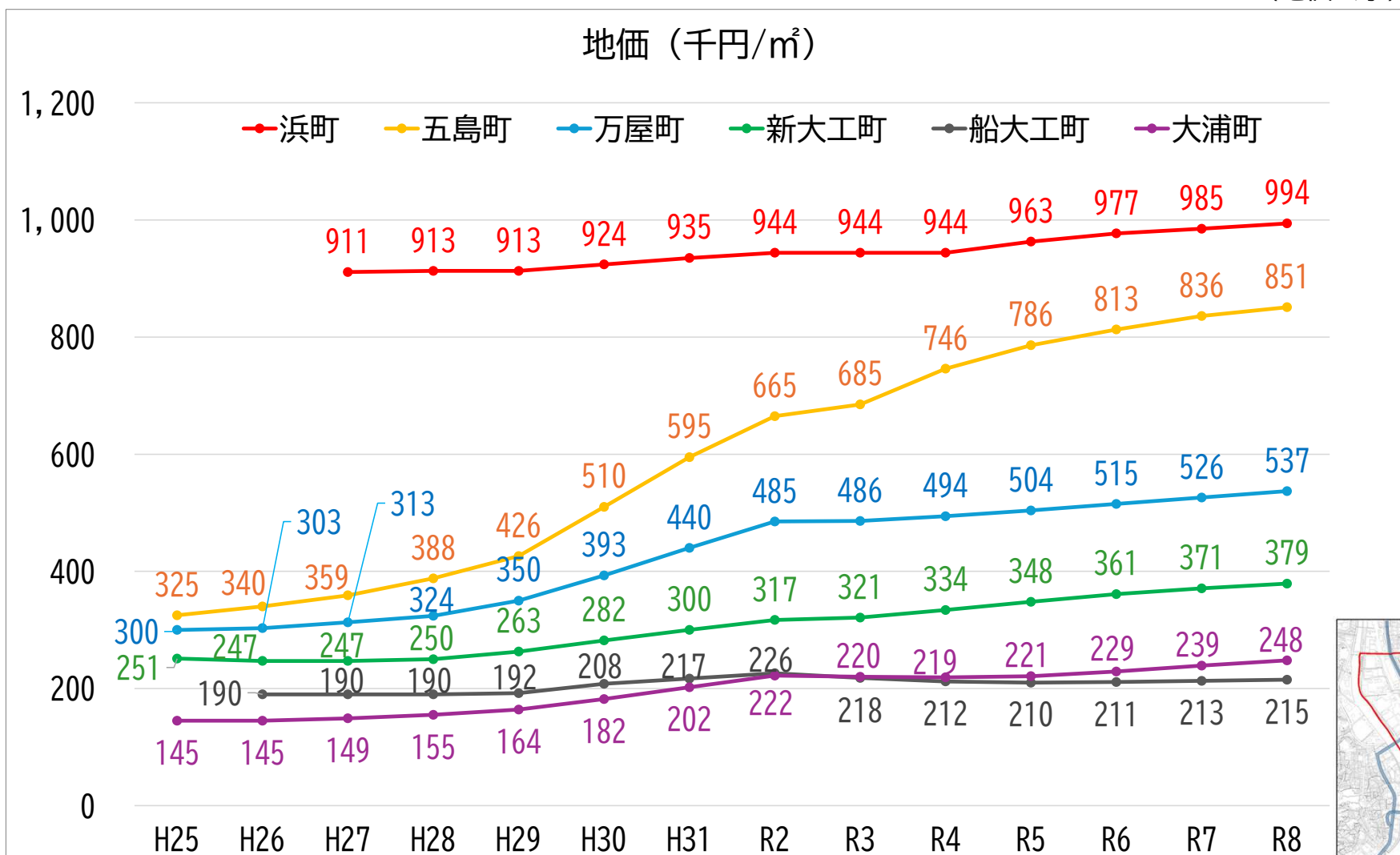
(住民基本台帳に基づく人口)



# 4 中心市街地の概況について

## (2) 地価

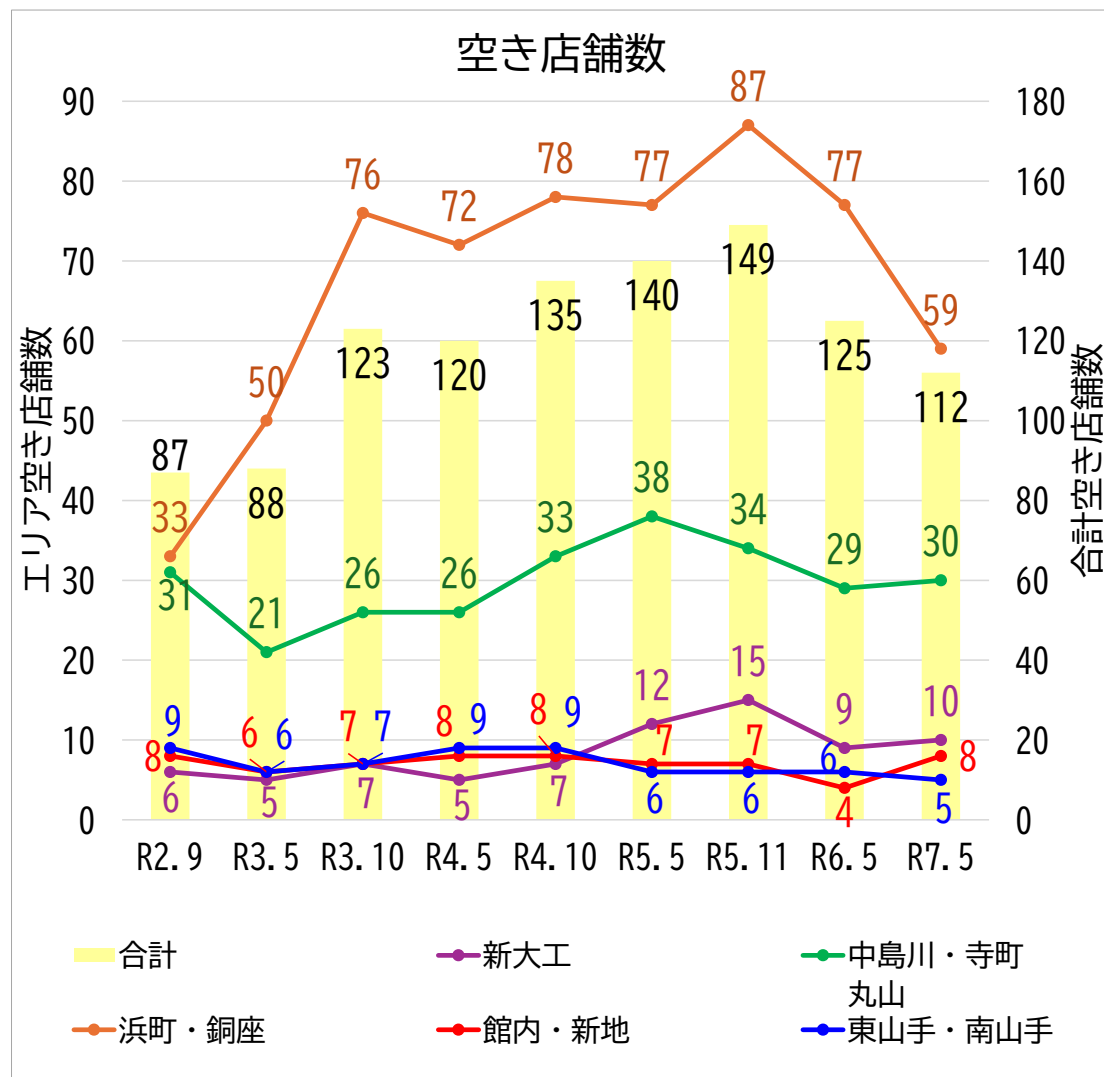
(地価公示)



# 4 中心市街地の概況について

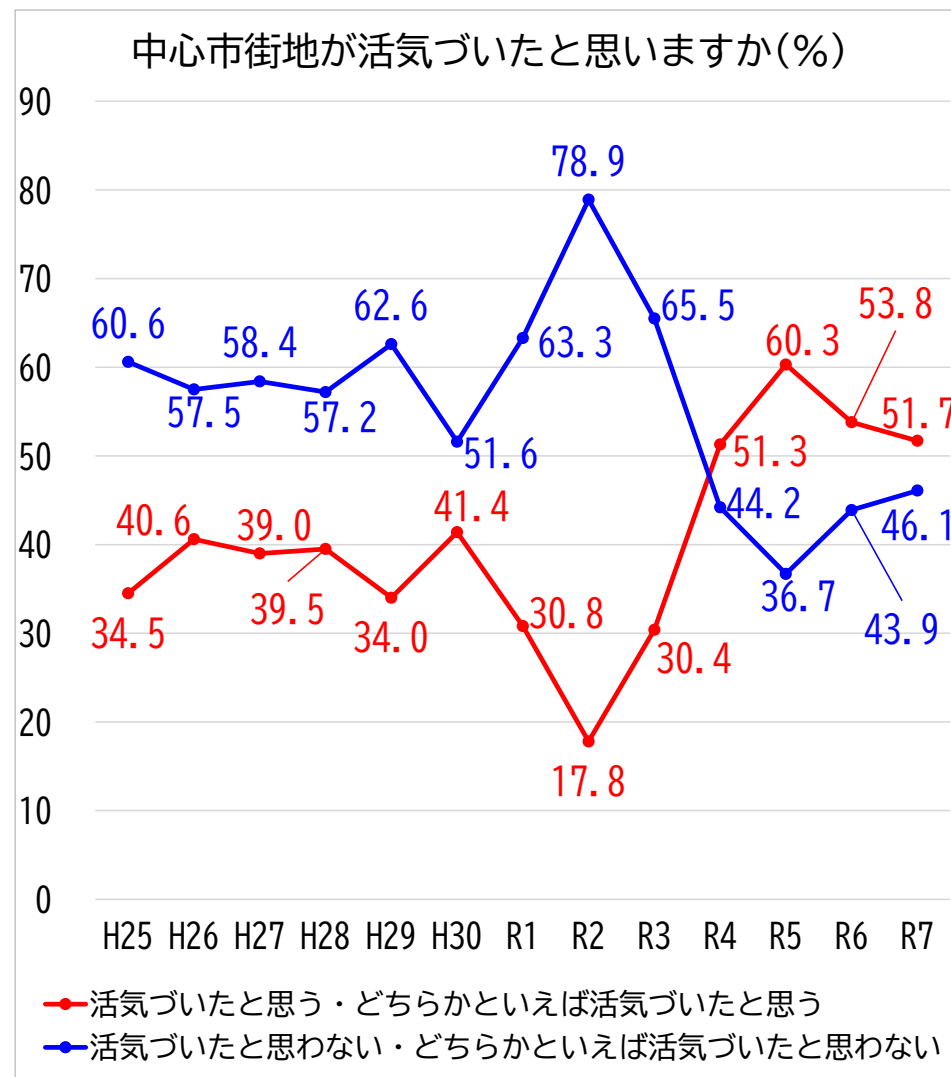
## (3) 空き店舗数

(まちなか事業推進室調査)



## (4) 市民意識

(市民意識調査のアンケート結果)

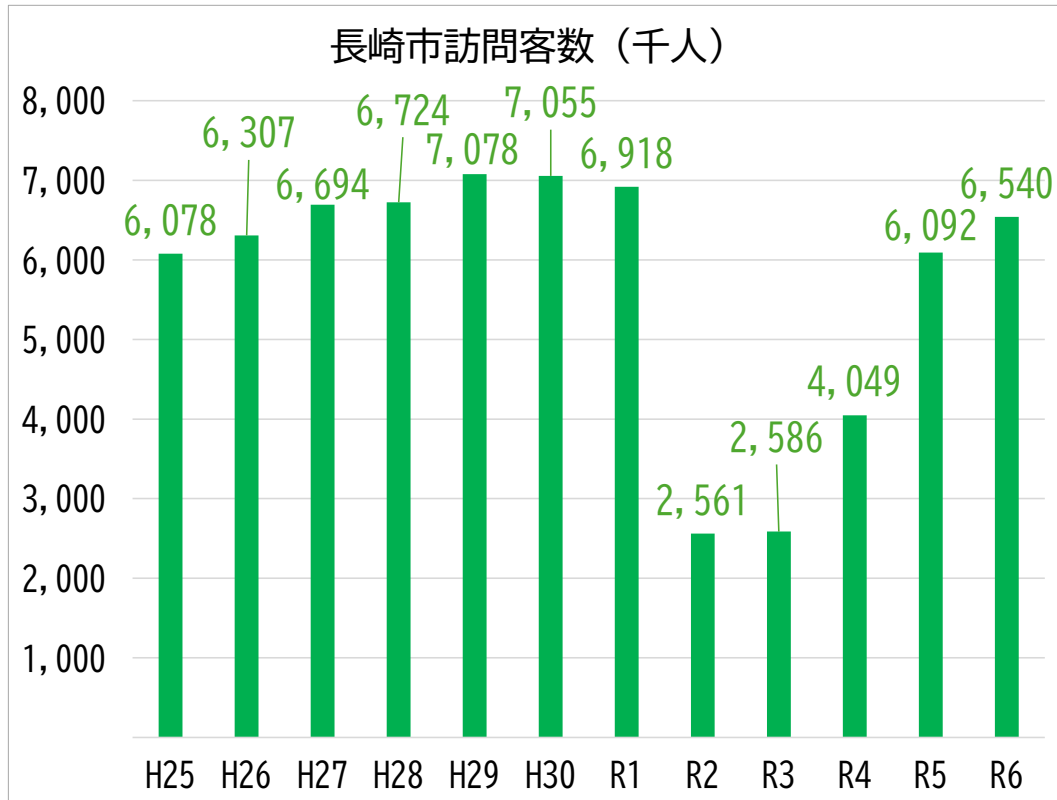


(参考) 中島川・寺町エリア新規出店数 95件 (12年間)

## 4 中心市街地の概況について

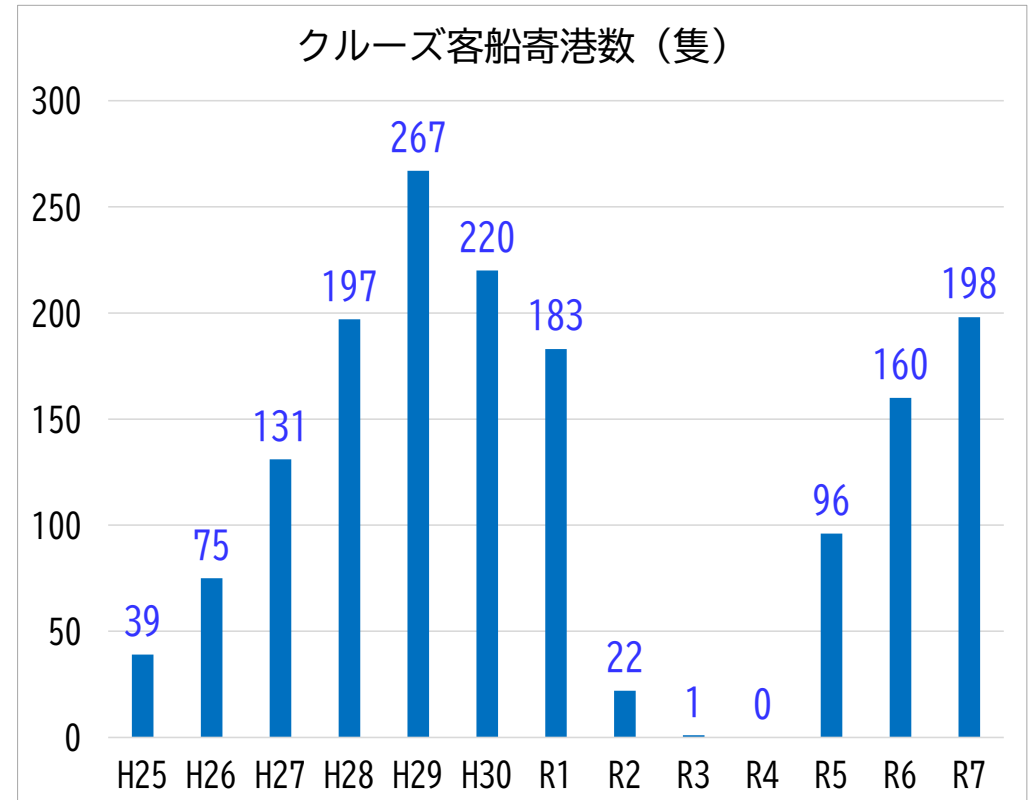
### (5) 訪問客数

(長崎市観光統計)



### (6) クルーズ客船寄港数

(長崎港HP)



# 4 中心市街地の概況について

## (7) 他都市との比較

### ア 平日

比較都市：県庁所在地で中心市街地活性化基本計画認定都市のうち、人口同規模の都市

比較地点：中心市街地商店街の歩行者通行量最多地点を比較

#### 長崎市

人口：38.6万人

地点：浜市商店街  
(旧三菱UFJ銀行前)

#### 高松市

人口：41.9万人

地点：丸亀町商店街

#### 大分市

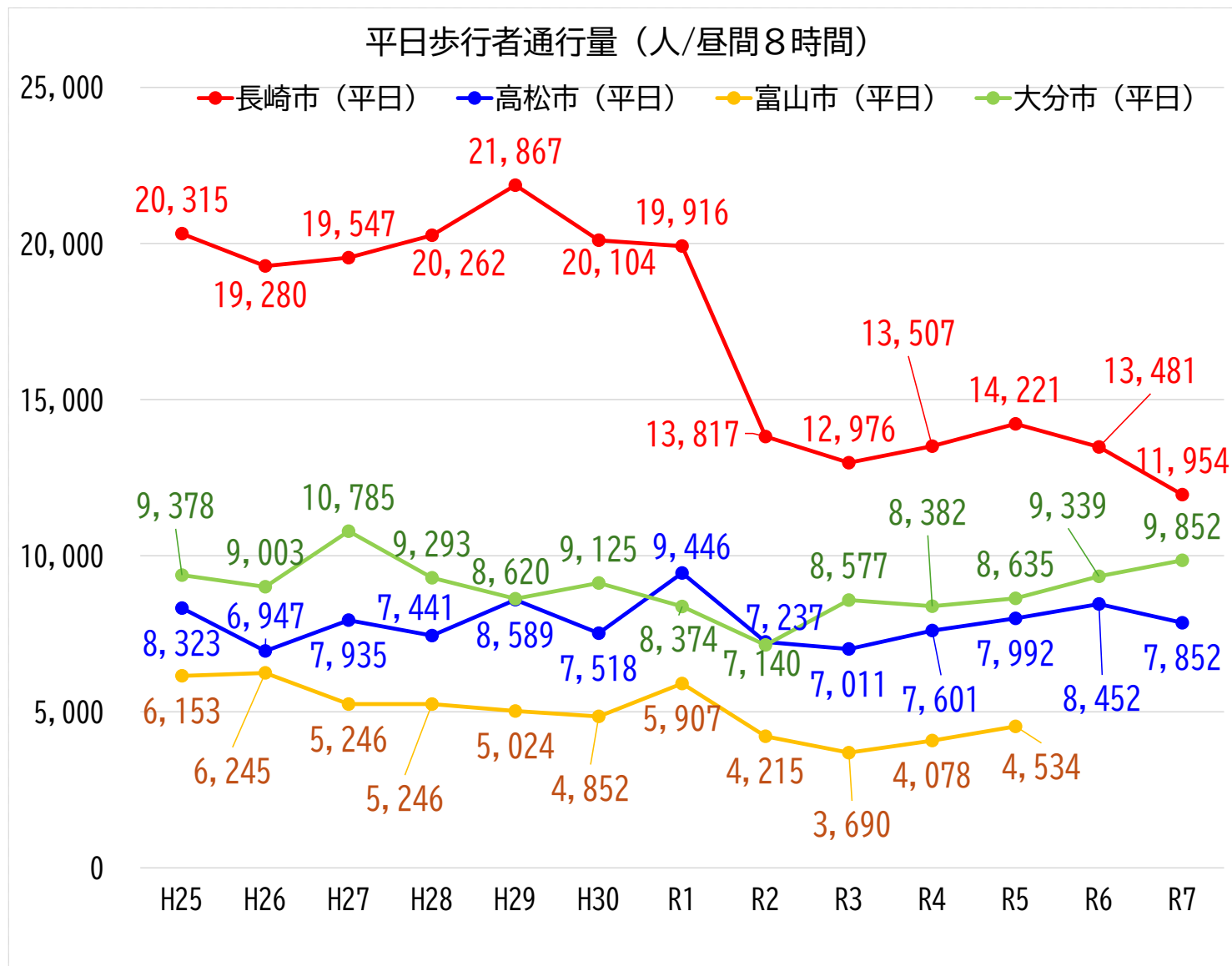
人口：46.9万人

地点：セントポルタ  
中央町商店街

#### 富山市

人口：40.2万人

地点：総曲輪通り商店街



# 4 中心市街地の概況について

## (7) 他都市との比較

### イ 休日

比較都市：県庁所在地で中心市街地活性化基本計画認定都市のうち、人口同規模の都市

比較地点：中心市街地商店街の歩行者通行量最多地点を比較

#### 長崎市

人口：38.6万人

地点：浜市商店街  
(旧三菱UFJ銀行前)

#### 高松市

人口：41.9万人

地点：丸亀町商店街

#### 大分市

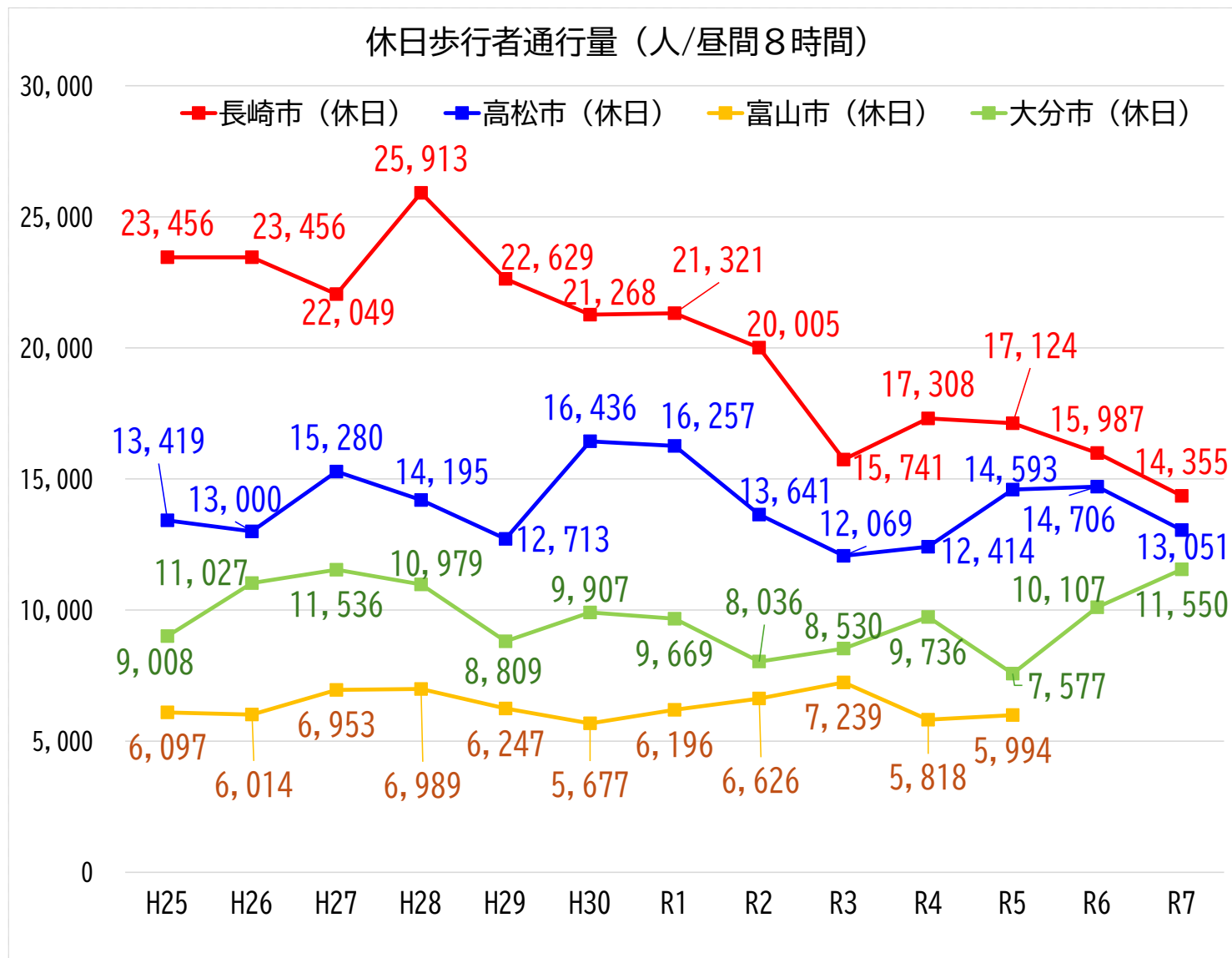
人口：46.9万人

地点：セントポルタ  
中央町商店街

#### 富山市

人口：40.2万人

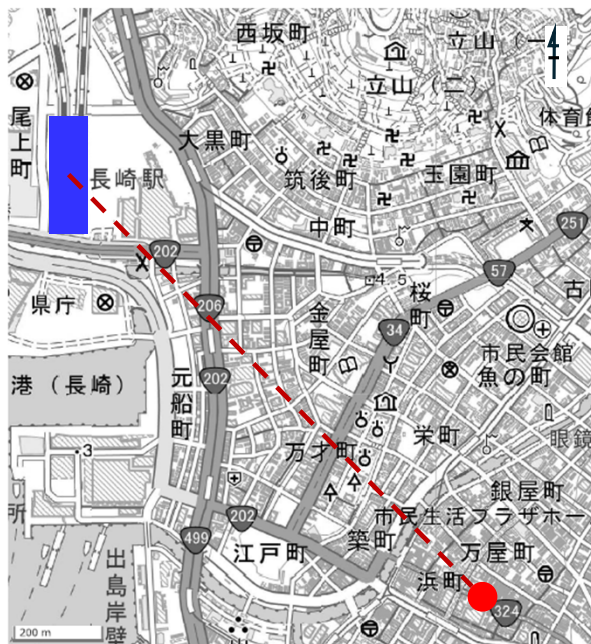
地点：総曲輪通り商店街



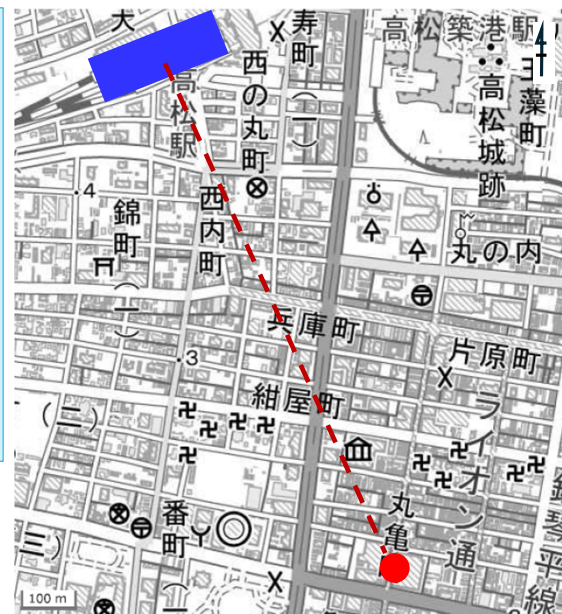
# 4 中心市街地の概況について

## 【参考】歩行者通行量調査地点図

長崎市  
 地点：浜市商店街  
 (旧三菱UFJ銀行前)  
 駅からの直線距離：約1.2km  
 中心市街地面積：325ha  
 中心市街地人口：31,855人  
 (R7.12末時点)



高松市  
 地点：丸亀町商店街  
 駅からの直線距離：約1.0km  
 中心市街地面積：250ha  
 中心市街地人口：20,506人  
 (R7.10末時点)



大分市  
 地点：セントポルタ  
 中央町商店街  
 駅からの直線距離：約0.3km  
 中心市街地面積：153ha  
 中心市街地人口：21,096人  
 (R6.12末時点)



富山市  
 地点：総曲輪通り商店街  
 駅からの直線距離：約1.3km  
 中心市街地面積：436ha  
 中心市街地人口：21,447人  
 (R6.6末時点)



図面は、地理院地図（電子国土WEB）を加工して作成